自主解散を求める動き

改まらない"二足のワラジ"

―足寄町議会よ！出直せ―

十六日の臨時足寄町議会では、足寄町政刷新協議会からの申し入れは当然だとして、わざわざ協議会をひらいて、議員は法人であると個人であるとを問わず、地方自治法の兼業禁止規定に従って町との建設工事や物品供給などの請け負いはいっさい自粛しようとの申し合せを全会一致で決定したものの、これは口先だけで、そのご依然として一部議員の請け負い関係は改められないで〝二足のワラジ〟はそのままで、久保田庄太郎議員のような小魚？だけが引っかかった形で大魚は悠々と泳いでいるようなありさま。

刷新協議会では議員ばかりでなく各種委員や公職者についてもその委員会や団体と営利関係に立つのは好ましくないので自粛するようにと申し入れたものの、これまた『日ごろ町のためにつくしているのだからその労にむくいるために取引させてもらうくらいはあたり前』といった声もきかれるほどで、議会自らが姿勢を正さなければ処置なしといったところ

そこへもってきて、久保田前議員の請け負い工事問題で議会を陳謝した担当職員については人事管理のうえから　にっかの措置がおこなわれるものと思われているのに、なんと「文化の日」に優秀な永年勤続職員として表彰するということが十六日の議会で満場一致で決定されたことで、一般町民の感覚からすれば、理事者も議会もピントがはずれている感じ。

こうった足寄町政の現状にたいして刷新協議会としては

一、足寄町議会は議員の請け負い禁止を規定している地方自治法を守る意思がなく、自らを規制する能力を失っているのではないか

二、その法律に該当したと結論ずけた特別委員会の報告については全議員とも異議がなかったのに、採決にあたっては該当議員に同情してか十六対八で否決したのは公私混同の議決権の乱用であって足寄町史に一大汚点を残したのではないか

三、それにもかかわらず、その該当議員が責任を感じて辞表を提出したというのに、違法な議決の再議についてまたしても十一対九の多数決で否決したことは汚点の上塗りであって、無意味な議会内の派閥、感情の対立をむき出しにしたもので、正常な議会の機能を失っていいのではないか

四、特別委員会が全員一致で報告した結論について特別委員自らがその結論に違背した言動によって報告を否決にもちこんだことは議員の品位が疑われ議会の権威を傷ずけたのではないか

五、法律を無視し住民を無視しても多数決であればなんでもまかりとおるという町議会であってはならない

との見解をまとめ、このために具体的な活動計画を樹てて町政刷新運動を推しすすめることにしています。

地区労や農民同盟などとの話し合い

足寄町政刷新協議会では一日に前寺忠三郎代表世話人宅に地区労、農民同盟、社会党、社青同、上利別民協などの代表を招いて、最近の町議会の在り方について意見を交換しましたが、

もはやこの現状からすれば町議会リコールにもってゆくのがスジだという原則論が出ましたが、その前にとり……のための手段方法をつくしたうえで、それでもどうにもならない時点に立ち至ったときには止むを得ずリコールにもちこむとともに、その運動にタイアップして良心的な議員グループの辞職をもって町民与論に訴えるという点で意見が一致しました。

この日さしあたりのすすめ方として

監査請求　有権者数の五十分の一の署名による事務監査請求で、議員や各種委員の町や各委員会にたいする工事請負や物品供給や労務提供などの実態を明らかにする

行政訴訟　九月二十二日の十六対八の問題の議決の違法確認の行政訴訟を有志議員によって釧路地方裁判所に提起する

公聴集会　この問題の真相をひろく町民に知ってもらうために、全町にわたって対話集会をひらいて全議員に出席を求める

などの活動をすすめていって、問題の議決についての違法性が確認、立証され大多数の町民がこの運動を理解し、議会の出直しを望む声が強くなったところで、町議会にたいして

自主解散　を要請して明年四月の任期満了をまたずに出直し選挙の実現をめざしており、議会が自主解散をするには四分の三以上の出席議員の五分の四以上の賛成が必要なので、実現がなかなか難しいとすれば

リコール　にもちこまざるを得ないわけで、容易ならない事態となりますが、このたびの議会の議事禁止の規定を無視した違法な議決の是非については大多数の町民の理解は得られ三分の一の署名は難しくないとみられており、あと任期わずか六カ月なのにという声にたいしては、このように町議会の在り方に町民の関心が深いときに〝繰りあげ選挙〟を実施した方が真の選挙になるし、議会としても町民を無視したウカツなことはできないという実物教訓になるので、四月にやるよりも意義はあるとして、当面は自主解散を強く打ち出してゆくことになりました。

稲牛の火事で陳謝

（第一面からつづく）

ついで教育委員会から緊急報告があり

新津委員長　おわびしたい、本年二月に稲牛中学校教員住宅一棟二戸を全焼し深くおわびしたが、また再度十　日午前十一時ごろ建て方頂いて入居予定者の斉藤先生の引っ越し中にタキ火をしたのが燃えうつり内を焼いた、校長も当事者も陳謝しており、再々のことで申しわけないが厳重に注意を促したい

我妻議員　二回もだが、消火の方法に手落ちはないか

神本議員　前回の失火の原因もハッキリしない、責任の所在をどう考えるか応急措置はどうするか

大久保繁議員　管理の責任者はどちらか

岡教育長　大変申しわけない、責任の分野は教育委員会で、監督の不充分を深くおわび申しあげる、年内に再建築を考えたい

斉藤消防次長　消防と警察で調査したが原因はまだわからない、主たる原因は人のいないところで、今日の火災は新しい住宅の物置から七、八坪で引っ越しの準備をし書類や紙くずを焼いていて灯油三缶とタイヤ一本に引火した

鳴海議員　通告をうけて消防はどうしたか

斉藤次長　当日は日曜で叫んだが人が集ったのは三十分くらいで、中足寄分団と本団がかけつけたが間に合わなかった、正式の引っ越しでなく準備をしていた

鷲岡総務課長　出火当日は日曜日で手続きがなされず、検定の点と保険の手続きをしておらず反省している

神本議員　管財から教委へ引きつがないうちに引っ越ししたのか

富田助役　正規に検定がおわり引き渡しがおこなわれて移管するので、このルールを確立したい

岡教育長　完成したうれしさから入ったが、こんご注意したい

町との取引は自粛へ

つづいてようやく議案に入って文化の日の表彰者に後藤愛一、広瀬重雄、先崎誠、網頭ハル、前谷信正、安久津義人、足中スケート部後援会、尾岸政雄、佐々木仁吉、柳沢学、岡林頼顕、沼田実、猿渡義明、所勇、中村昭藤、島津政人、松平京、土田浩、棟朝正義、菊谷貞司、森金一の各氏を決定、一般会計の予算補正では芽登小学校、ラワン小学校、西中学校にそれぞれ教員住宅一戸の新築などを決定して協議会にうつーました。

大滝議長　町政刷新協議会よりの申し入れ事項について協議したい、議員、委員の町との請負は法人なら年間五〇％まではよいというが法の精神から条例、規則等で規制してほしい、各種委員、公職者も自粛の申し合せをーてほしいという

矢野議員　町民は非常に憤激している、他町村は自粛している、条例を設けるべきだ

香川議員　自治法すら守らないで条例をつくっても無意味でないか

斉藤副議長　素直に刷新協議会の申し入れをうけて時間をかけてやりたい

大久保議員　法に反した条例は慎重に考えるべきだ

斉藤副議長　全員が一致することが先決で、一致すれば条例はいらない

矢野議員　自粛すればよいが明確でなければならない、過去の実績から望めない

斉藤副議長　議会で議決すればよい、なっとくすると考える

阿部議員　物品販売までもどうか、情状酌量すべきでないか

遠山議員　法の精神をゆがめている、九十二条の二を研究する必要がある、どこまで自粛か、ケーバイケースは誠実に低廉にやって頂きたい

矢野議員　阿部さんのでは困る、根本的に自粛する

阿部議員　物品販売はデリケートとなる

福本議員　自粛を明確にすべきだ

大滝議長　法人、個人を問わず町との取り引きはしない、自粛に異議はないか

遠山議員　法人の形式をとっても懲罰に価いする

大滝議長　全会一致で決定する

との宜告があって閉会しました。

拡大大会へ　宮口後援会

明春の市議選に足寄町から無所属で出馬が決定した宮口政雄氏の後援会拡大大会が二十八日午前十時から林業会館でひらかれることになりました。

十二日に足寄町農協会議室でひらかれた準備会では後援会結成のための下準備としての会合でしたが、すでに管内の立候補予定者がそれぞれ後援会活動に入っているおりから、この日たちに宮口後援会を結成して活動に入るべきだとの参会者の強い要請にもとずいてスタートしたもので、後援会の会則や会長以下の役員などは二十八日の拡大大会で決められます。

雌阿寒太鼓の新作発表

全十勝民謡競演大会で

足寄町の文化祭行事の幕あけとして、十一月一日午前九時半から公民館で町と十勝民謡協会との共催の全十勝民謡競演大会がひらかれ全管内から二百名近くの出演者によってノドを競い合いますが、この日とくに足寄民謡まりも会（福士惣一会長）の新作による「雌阿寒太鼓」のバチさばきぶりを発表するとともに渡辺るいと（幹男氏）作詞の「阿寒追分」が披露されます

その歌詞はつぎのとおり

前唄　ましゅう見たさに山坂こえて　ヤンサノエー
来たにさ霧よ　なぜかくす　バンケーぐれてペンケは晴れてネー　心まよわす　双湖台

本唄　燃える雌阿寒やさしく抱いて　影も乱さぬオンネトー

後唄　謎を抱いてまりもは沈むネー　湖畔恋しや湯の香り

全犬種チャンピオン大会

日本ケネルクラブ十勝支部（黒田栄伸支部長）結成記念の全犬種北海道チャンピオン大会が二十五日午前九時から足寄町役場前広場でひらかれます。

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ
上野復興
足寄駅一り　T二五一一

大自然のなかの人工美
―いで湯のふるさと―
観光と保養の
芽登温泉
足寄町芽登　T二八五五

有限会社
協栄建設
足寄町西区　T二五六九
小林直道　佐藤善一
中山源吾　山上輝夫

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二三一番

技術に生きる！
テレビ　ラジオ　レコード　ステレオ
世界のビクター
―あらゆる電気具器―
有限会社
ミネ・デンキ
足寄劇場前　電話2642番

収穫の秋です！
秋冬衣料を各産地から仕入れて参りました。大量に入荷いたしましたので、是非ご用命下さい！
株式会社
前田呉服店
足寄駅前商店街　電話二〇二二番